

Movable Type 最強の S E O 戦略レポート

はじめに

このレポートは、Movable Type 3.1、3.2、3.3 いずれかのバージョンをすでに使用したことがあると言う前提でお話をすすめます。

目 次

- 1) Movable Type の環境について
- 2) Movable Type でマルチドメイン戦略
- 3) MovableType で内部リンクを強化する！
- 4) Google サイトマップを自動生成する！

著作権についてお読みください

このレポートの内容は、著作権で保護されています。
本レポートに含まれる情報は、媒体に関わらず以下のような利用方法は禁じています。

- ・ オークション等への出品をはじめとした 2 次販売行為。
- ・ 有償・無料に関わらず再配布する行為。
- ・ 内容を加工し無料、有料にかかわらず再配布する行為。
- ・ 本レポートを著者に断り無く第三者へ譲渡する行為。

本項に違反した事が発覚した場合は、法的手段を取らせて頂く場合があります。

以上に同意された方のみ閲覧して下さい。

さて、検索エンジンからアクセスを増やす方法は大きく分けて2つあります。

被リンクを増やす事と

もう一つは、サイト内の総ページ数を増やす事です。

サイト内の総ページ数を増やす

つまり、1ページに1日1人来るだけでも1日1000アクセスになるのですから、1ページに2人来ればアクセスは倍の2000アクセスになります。

1日2000アクセスあれば、どんなフィリエイトでもそこそこ収入に繋がります。

さらに、1000ページあるサイトなら2~3ヶ月もすればページランクは3~4になっているはずです。ページランクが上がると、アドセンスのクリック単価も高くなります。1ヶ月に100\$は、簡単に稼いでしまう事でしょう。

多くのアフィリエイトは、これを知っています。

そして、「アフィリエイトページ自動作成ツール」などを使って一度に沢山のページを生成してサイトを作成しています。

しかし、この方法はだんだん使えなくなってきました。

考えても見てください。

同じキーワードを選んだ人が他にもいるはずですから、同じサイトができるのは当然です。カテゴリーを変えても、作成される個別ページについては、全く同じタイトルで、全く同じ内容のサイトがWEB上に沢山できるわけです。

アドセンスでは、このようなサイトは見つかり次第、

1つのドメイン全体で表示が差し止めになります。

悪質とみなされた場合は、ID取り消しになることもあります。

そこで、当店独自の方法で1000ページをらくらく作成する方法をマニュアルにしました。

サイト内の総ページ数を簡単に増やす方法については別途「Movable Type で1000ページをらくらく作成する方法」に詳しく書いてありますので、そちらを熟読下さい。

このマニュアルがあれば、もうネタにもコンテンツ不足にも困ることはありません。初心者の方にも「情報サイト」がらくらく構築できます。

※「Movable Type で1000ページをらくらく作成する方法」は、当店の「Movable Type 情報サイトテンプレート」の特典のです。
<http://www.ec-blog.com/03/000346.html>

このレポートでは、Movable Type だけからできる SEO についてのみ説明させていただきますので、予めご了承下さい。

1) Movable Type の環境について

まず、Movable Type を設置するサイトは、**独自ドメインで運用**してください。さらに、**サブドメインが複数使えるサーバー**であることも極めて重要なポイントになります。

又、PHPやMySQL、sqlite が使える環境であることがサーバー選定の最低条件となります。

設置するサーバーの条件

- ・ 独自ドメインで運用できること
- ・ サブドメインが複数使えること
- ・ PHPやMySQL、sqlite が使えること
- ・ Movable Type の設置を許可している事

さらに、サーバー容量にも余裕があれば最高ですが、はじめは

200MBもあれば良いでしょう。（後からサーバー容量を追加できるようならさらに良いです。500MBから1G）

これらの環境を全て備えていれば、どこのサーバーでもかまわないのですが、Movable Typeは再構築時にサーバーに大変負担をかけるプログラムである為、Movable Typeの設置を推奨していないサーバーの場合、ある程度エントリーを書いただけでCGIの使用差し止めになってしまうことがありますので注意してください。

ロリポップサーバーでは、Movable Typeを推奨しており使用している方も大変多いのですが、もし、これからお話する内容を別のドメインとサーバーで実践したいとお考えなら、もう少しスペックの高いサーバーの利用をおすすめします。

できれば、専用又は、準専用（VPS）などのリソース保証があり、他のユーザーの影響を受けないサービスを提供しているサーバーをお勧めします。

特に、1つのウェブログで1000ページ以上構築する予定の方は、ロリポップはお勧めできません。（900ページで限界です）

例えばですが、サーバーに余裕があれば同じサーバーにもう一つMovable Typeを設置することも可能なのです。

Movable Typeは、けっこうバージョンが頻繁に上がります。あまり変わらない場合もありますが、MT3.1からMT3.2へのバージョンアップ時には、かなり大きく変更がありました。

又、アップグレードするとページのファイル名が変わってしまうことがあります。これは、検索エンジンなどに登録されているページのリンクが切れてしまう事になり、アクセスに大きな影響がでます。

そこで、旧ページを更新するためにしばらく元のMTを残したまま、新たに最新のMTをセットし、エントリーは別途インポートして新にページを生成します。ページのURLが変わってもOKです。

旧MTの個別エントリー・アーカイブとカテゴリーアーカイブのテンプレートに「このページはURLが変わりました。一度、トップページへ戻ってから、各ページへお進み下さい。」と、しておきますと、リンク切れを起こさずに済みます。

2) Movable Type でマルチドメイン戦略

当店のテンプレートにはSEOが施してありますが、所詮は自分のサイト内部でできることですからビッグなキーワードなどには劇的な効果はあまり望めません。

やはり、SEOに最も効果が有り、最も難しいのが被リンク数を稼ぐことです。被リンクは、他のサイト運営者の方に相互リンクをお願いして増やす事が一般的な方法ですが実際には中々増えません。

実は、サイト内のからのリンクも重要な被リンクとなります。つまり、自分で増やせる被リンクもあるのです。

先ほど「サーバーの環境」の章で、**独自ドメインで運用**すること。さらに、**サブドメインが複数使えるサーバー**であることが極めて重要なポイントになります。と、お話ししました。

通常、検索エンジンは、同じサーバーの中に作られたフォルダの中身は、同じドメイン以下のコンテンツとして扱われます。

例えば、以下のような場合です

ドメインのトップ (ページランクは2)

<http://www.blog1.biz/>

サイト内コンテンツ (ページランクは0)

<http://www.blog1.biz/link/>

しかし、同じサーバーの中に作られたフォルダをサブドメインとして公開すると・・・

サイト内コンテンツ (ページランクは2)

<http://link.blog1.biz/>

<http://www.blog1.biz/link/> と <http://link.blog1.biz/> は、
公開方法をサブドメインに変えただけの同じサイトです。

つまり、同じサーバー内であってもフォルダ毎にサブドメインで運用することで、1つの独立したサイトとして扱われるのでトップページにページランクが付きやすくなります。

Movable Type は、複数のウェブログを管理する事ができ、さらにサブドメインでの運用・公開ができます。そして、それらのウェブログは独立したサイトとみなされるため相互リンクを行うことで被リンクを増やす事ができます。

例えば、映画紹介のサイトを作る場合。
タイトルは「映画DVDの情報サイト：Movieワン」
トップのURLが <http://www.movie1.com/>（仮）とするなら、
映画と言うキーワードと Movie の2つを入れてタイトルにしました。
ドメインにもキーワードが入るとさらに良いですよ。

大カテゴリーは、アクション、SF、ミステリー、などですが、
では、次に関連したコンテンツを追加するとしたら？

出演者（女優・俳優・監督など）辞典
タイトルは、「映画DVD出演者情報サイト：Movieワン」とか
「映画DVD出演者辞典：Movieワン」
URLは、サブドメインで <http://cast.movie1.com/>

映画音楽（主題歌やその映画で使用されている曲）紹介
タイトルは、「映画DVD音楽情報サイト：Movieワン」とか
「映画DVD音楽辞典：Movieワン」
URLは、サブドメインで <http://music.movie1.com/>

映画やアニメの原作小説やコミックの紹介
タイトルは、「映画DVD原作情報サイト：Movieワン」とか
「映画DVD原作辞典：Movieワン」

URLは、サブドメインで <http://books.movie1.com/>

さらに、多く作成したいならもっと細かく分けることもできます。例えば、ファンタジー映画情報サイトとか、韓国映画情報サイトなど「映画」は、カテゴリーの多いキーワードですので大変多くのサイトを作ることが可能です。

ポイントは、1つのドメインで1つのキーワードに関連したサイトのみを沢山作成することです。デザインは、違ってかまいませんが、それぞれに共通したキーワードを持たせることが重要です。

人気キーワードの調べ方

ご存知の方も多いでしょうが、
オーバチュアのキーワードアドバイスツール
<http://inventory.jp.overture.com/d/searchinventory/suggestion/>

キーワードアドバイスツールプロ
<http://tool.sem-research.jp/keyword-advice/>

このようなサイトで、人気キーワードを見つけてそれに関連するキーワードを調べましょう。

詳しい情報サイトの作り方は、
Movable Type 情報サイトテンプレート (AdSense 対応)
<http://www.ec-blog.com/03/000346.html>

の特典、「情報サイト作成マニュアル」でご覧下さい。
ここでは、戦略についてのみ説明させていただきます。

この章のまとめ

- 1つのドメインで1つのテーマに絞る。
- 人気キーワードでトップドメインを作成する。
- 関連するサイトをサブドメインで複数作成する。

さて、このようなサイトをいくつかサブドメインで運営し互いを相互リンクさせるのですが、そのための便利な機能やタグ、プラグインを MovableType は、はじめから備えています。

3) MovableType で内部リンクを強化する！

内部リンクとは？

自分のサイト内のページ同士のリンクです。
リンクはインターネットの根幹を成す仕組みです。
リンクがあるからこそ、様々なサイトへと行き来ができるのです。

それは、例え同じサイト内部であっても同じ事。

被リンクを稼ぐために、相互リンク獲得にいくら頑張っても、内部リンク（サイト内リンク）が適切でなければ、訪問者を迷わせるだけでなく、検索エンジンにトップページ以外登録されないという事態にもなりかねません。

又、Google のページランクは、外部リンクと内部リンクを区別していません。

当然ですが、相互リンクには相手が必要です。
依頼は面倒だし、断られる可能性もあります。又、受け入れられてもいきなりリンク解消されることだってあります。

つまり、ページランクの為の被リンクはできるだけサイト内部で稼いでおく事が極めて重要なのです。

MovableType は、このレポートの題名どおり最強の内部リンクシステムを持っているツールなのです。

1・トップページへのリンク

まず、内部リンクで重要なのは、トップページへのリンクです。タイトルに使われる単語が検索キーワードとして強いのは周知の事実。全てのページへ適切な形でトップページへのリンクを置きましょう。

適切なリンク形態とは、文章や、リンク先ページのタイトルにリンクを張ることです。

例えば、

トップへ ホーム 最初のページ 戻る HOME など、
トップページを表す言葉であることは、人間には理解できても
検索エンジンのロボットにはあまり通用しません。

人間用のトップページへのリンクは「HOME」でもかまいませんが、検索エンジン用には「サイトのタイトル」に対してリンクをしましょう。そして、全てのページに置きましょう。

MovableType の場合なら

```
<a href="<$MTBlogURL$"><$MTBlogName encode_html="1"$></a>
```

と言うタグを、各テンプレートのコンテンツの最下部などにおけば簡単にトップページへのリンクを生成してくれます。

検索エンジンは、個別ページからのリンクがトップページに集まることでそのページが、このサイトのトップページであるとみなします。

もし、トップページへのリンクがうまく行っていないと、ごくまれに、ブログなどで個別ページがトップページよりアクセスが多くなったり、被リンク数が多かったりする事があると、検索結果に個別ページがトップページより先に表示されることがあります。

2・コンテンツ内部からのリンク

被リンクは、関連するサイトと相互リンクすることで重要度が高くなるという事実は、皆さんご存知だと思います。

内部リンクも同じです。

同一カテゴリ内のページであれば、どのページからも行き来ができるようにしておくべきですし、逆にいえば関連の薄い記事とは直接リンクする必要はあまり無いと言う事になります。

MovableType の場合は、

●同一カテゴリの隣り合った記事をつなげるためのプラグイン
PreviousNextInCategory.pl

<http://weblog.philringnalda.com/2004/02/05/previous-and-next-in-category>

使い方とセット方法は

<http://www.ec-blog.com/13movabletype/000385.html>

●同一カテゴリの記事だけをリストアップするプラグイン
MTTagInvoke.pl

<http://www.nonplus.net/software/mt/MTTagInvoke.htm>

使い方とセット方法は

<http://www.ec-blog.com/13movabletype/000384.html>

などを、使って関連する記事をエントリー内に自動生成することができます。

●さらに、エントリー（記事）内で指定した言葉が使用されると、指定した URL へ自動的にリンクを作成してくれるプラグイン。

KotonohaLink

<http://cheebow.info/docmt/kotonohalink/kotonohalink.html>

使い方とセット方法は

<http://www.ec-blog.com/13movabletype/000388.html>

Seesaa ブログなどで文字にリンクがはってあり、クリックするとアフィリエイト先にジャンプすると言うものがありますよね。このプラグインは、そんな感じで使用します。

使い方は、プラグインとリンク先データを予めセットし、テンプレートに<\$MTEnterBody KotonohaLink="1"\$> を埋め込みます。

後は、普通にエントリーを書くだけでリンクを作成してくれます。

あなたは、どこへ飛ばしたいですか？アフィリエイト先？

それとも内部リンク？とにかく大変便利で役に立つプラグインですので、是非とも導入してください。

※重要※

又、誰も気づいていないのか、大変貴重な機能を使いこなしていないようですのでご紹介しておきます。

実は、MovableType は、**トラックバックを自サイト内部にも送ることができるのです。**

MTのメニューで「設定」⇒新規投稿タブをクリックすると最下部に「トラックバック自動検知」と言う機能設定欄があります。

「内部のリンクに対するトラックバック自動検知を有効にする」にチェックを入れていると、新しくエントリーを投稿したときに、投稿したエントリー記事の内容に内部リンクがあるとそのページへトラックバックを自動送信します。

又、外部リンクにも対応しており、新しくエントリーを投稿したときに、投稿したエントリー記事の内容に外部リンクがあるとそのページにトラックバックURLがあれば、トラックバックを自動送信します。

これは、内部、外部の被リンクを増やすためには、**極めて重要な機能**ですので、**必ずチェックを入れておいてください。**

※この機能が使えるのは、MovableType だけです。

3・サイト内のウェブログを相互リンクさせる

MovableType は、1つの同一MT内で管理しているウェブログなら、ブログ名、ブログの説明文、ブログのURL
さらに、ブログ内の総エントリー数、ブログ内の総コメント数、ブログ内の総トラックバック数、を各ウェブログのページに表示する事ができます。

以下MT 3.3、MT 3.2 でのテンプレートタグ例

```
<MTBlogs>
<h2><a href="<$MTBlogURL$"><$MTBlogName$></a></h2>
<$MTBlogDescription$><br />
<MTEntries lastn="5" sort_order="" category="">
  • <a
href="<$MTEntryLink$"><strong><$MTEntryTitle$></strong></a>
<br />
<$MTEntryExcerpt$><br />
<hr size="1" />
</MTEntries>
</MTBlogs>
```

サブドメインで運用しているサイトは、独立した1つのサイトとしてみなされ、ページランクの設定もトップのドメインと同様に配布されます。

では、それぞれのトップページをリンクさせるとどうなるでしょうか？

例えば、ページランク0のサイトのトップページのページの力を100として、ページランク4のサイトは400としましょうか。

それぞれにぶら下がっているカテゴリーページや個別ページはそれぞれ、1だとしましょう。

個別ページから100の力をもらうには、100ページ必要ですが、トップページからなら1ページで、100とか400とかの力をもらうことができます。

例えば、トップのドメインのページランクが4なら、サブドメインで運営するサイトのトップページと相互リンクするとトップのドメインは、簡単に100の力をもらうことになり、サブドメインのトップページは、簡単に400の力をもらうことになります。

400の力をもらったサブドメインのトップページは、いずれページランクが4～3になります。

全く作成したばかりでどのドメインもページランクが無ければあいても、100の力をトップのドメインへつなぐことでページランクが上がりやすくなります。

つまり、せっかくフォルダ内で別のコンテンツを立ち上げたとしても、フォルダ内である以上1の力しかありません。
しかし、サブドメインで運営することでサイト内の別コンテンツが100の力を持つことになるのです。

そして、1つのサーバーに1つのMTで、複数のドメイン（サブドメイン）を使ってサイトを運営する事で、完璧な内部リンク構造を持ったWEBサイトを構築することができます。

ちなみに、当店の被リンク数は
(2006/07/21 現在)
Google での被リンク数 460 件
Yahoo! での被リンク数 11700 件
MSN での被リンク数 21048 件

Googleは、チェックが厳しいのが良くわかりますね。
以前は、800くらいあったんですがGoogleの方針が変わったり検索の仕方などで、被リンク数に大変差が出ます。

それでも、トップドメインの記事数は、200ページも無いとすると、当店の被リンク数は大変多いと考えられます。

これは、被リンクの一部がサイト内部やサブドメインで運営する他のサイトからのリンクだからです。

又、当店のPVは通常1600、多いときで2200ほどあります。1人の人が平均6~8ページくらい見ているのです。これも、200ページ弱のサイトとしては、非常に多いPVと言えます。

これは、内部リンクの構造が関連したページを閲覧しやすく出来ているからです。Movable Typeは、こう言ったリンク構造をいともたやすく実現してくれる素晴らしいプログラムだと思います。

5) Google サイトマップを自動生成する！

せっかく毎日更新しているのに、
いつまでたってもGoogleにインデックスされない。
トップページ以外のページがクロールされない。
そんなブログやホームページをお持ちではありませんか？

特に動的アプリケーション（CGIやPHPなどのCMSコンテンツやフラッシュサイトなど）で出力されるページはみつけにくいとGoogle自信も述べている通り、このようなサイトをお持ちの方やブログを別のディレクトリで公開している場合などに、Googleにインデックスされないと言う現象が見られます。

又、サイト内のページ数が増えてくるとクロール時に取りこぼすページ数も多くなります。せっかく書いているのだから、くまなくクロールしてほしいですね？

Google Sitemap を使用すれば、Google のクローラーにサイトの情報や場所を正確に提供することで、クロールの精度と効率を高め、Google のインデックスにより多くのページを登録することができるようになります。

手動では、難しいサイトマップ製作も、Movable TypeならRSSなどと同じように、エントリー作成時に自動生成しGoogleへ更新状況を送信してくれます。

詳しくは、Google サイトマップとは？をお読みください。

<http://www.ec-blog.com/06/000069.html>

以下、Google サイトマップのテンプレートタグです。
インデックステンプレートに以下の内容を新規作成して下さい。
RSS ファイル同様、セットするだけで自動更新されますので、フ
ァイルURL を Google サイトマップへ登録するだけです。

```
<?xml version="1.0" encoding="<$MTPublishCharset$>"?>
<urlset xmlns="http://www.google.com/schemas/sitemap/0.84">

<url>
<loc><$MTBlogURL encode_xml="1"$></loc>
<lastmod><$MTDate utc="1" format="%Y-%m-%d"
language="en"$></lastmod>
<changefreq>daily</changefreq>
<priority>0.8</priority>
</url>
<MTCategories>
  <url>
<loc><$MTCategoryArchiveLink encode_xml="1"$></loc>
<lastmod><$MTDate utc="1" format="%Y-%m-%d"
language="en"$></lastmod>
  </url>
<MTEntries>
  <url>
    <loc><$MTEntryPermalink encode_xml="1"$></loc>
<lastmod><$MTEntryModifiedDate utc="1" format="%Y-%m-%d"
language="en"$></lastmod>
  </url>
</MTEntries>
</MTCategories>
<url>
<loc><$MTLink template="アーカイブページ"
encode_xml="1"$></loc>
<lastmod><$MTDate utc="1" format="%Y-%m-%d"
language="en"$></lastmod>
<changefreq>daily</changefreq>
<priority>0.5</priority>
</url>
</urlset>
```

いかがでしょうか、今回ご紹介した MovableType だからできる最強のSEO戦略レポートとツールの数々、すぐにでも試してみたくなったではありませんか？

このレポートの内容を実践するために、当店のテンプレートがお役に立てると思います。又、これらの技術をフルに活用したテンプレートを提供してまいりますのでご期待下さい。

このレポートをお読みになった方だけのプレゼントがあります！

1000円割引クーポン券番号：87se1025

当店のテンプレートをご購入される時にカートの「クーポン番号」記入欄にこの番号をご記入頂きますと、ご購入金額より1000円を割引いたします。

当店おすすめテンプレート

◆Movable Type 情報サイトテンプレート (AdSense 対応)

ブログ集客に最適な「情報サイト」を構築するための Movable Type テンプレートです。

<http://www.ec-blog.com/03/000346.html>

このテンプレートは、MTの機能やプラグインをアフィリエイトやビジネスブログに活かすためのアイデアを最高の形で実現したテンプレートです。ご購入された皆様には「当店の最高傑作」とまで賛美頂いております。他店で、同じ機能、特性を持ったテンプレートを手に入れることは絶対に不可能です。

AdSenseのクリック率は、当店の他のテンプレートの中でもダントツ！アクセスはあるのに、アドセンスのクリック率が低い方には最も効果を実感できるテンプレートです。又、当店で提供している特典のレポートは情報商材なら2万円以上で販売が可能な内容です。

<http://www.ec-blog.com/03/000346.html>

このレポートをお読みになったご感想などは
info@ec-blog.com へ送信して頂けますと大変うれしく思います。

では今後とも、商用 BLOG 専門店をよろしくお願い致します。

<http://www.ec-blog.com/>

商用 BLOG 専門店

松木 京子